

## 待降節第1主日の説教

金 大烈 神父 2008年11月30日(日)

### 《四つ葉のクローバー》

おはようございます。(司祭が2週間ぶりのミサで信者さんに挨拶をする)

私は皆さんに会いたかったですが皆さんはどうでしたか？待っていましたか？声が全然聞こえませんか？(皆、笑ってしまう) 会いたかったですか？最初の返事の声が小さかったので悲しくて韓国に帰ろうかと思いました。(又、皆、笑ってしまう)

皆さんもよく知っている有名な話を喩えとして言いながら分かち合いたいことがあります。皆さんが若くて感受性が豊かな時代の時に草地で探そうとした草がありますね。それは何でしょうか。その草はナポレオンによって始まった話の草ですが名前をご存じですか？『四つ葉のクローバー』です。四つ葉のクローバーを見つけたら宝物を見つけた気持で大切に持ち帰り、本などの間に挿んで押し花にしましたね。その四つ葉のクローバーは幸運とかラッキーと言いますね。そうしましたら三つ葉のクローバーは何と言いますか？それは、幸福と言います。

はっきり申し上げます。私たちはある意味で、四つ葉のクローバーを幸運だと思いながら求めようとしています。しかし、結果的に私たちはその為に、幸福である三つ葉のクローバーを踏み殺している生き方をしているかもしれません。

少し優しく話しますと四つ葉のクローバーは間違えて生まれたものです。いわゆる、突然変異だと言えます。

そして少し極端に言い表すと障害を持って生まれたものです。しかし四つ葉のクローバーはナポレオンの目に入り彼が下を向いた時に自分に向けてきた弾丸が頭の上を通り過ぎて行ったので、四つ葉のクローバーを見ていなかったら自分は死んでいただろうと思い、その時から四つ葉のクローバーは"ラッキー"という由来が出来たと言われています。

もしかすると私達のこの世の中の姿だと思えます。みんなが宝くじ当たったら喜びます。パチンコに行くと金を取れば喜びます。しかしよく考えていただきたいです。皆様も統計を聞いていると思いますが、実際宝くじ当たった人で今までの暮らしより良くなったという人は0.3%にしか過ぎないという話を聞いたことがあります。もっと悪くなった人がほとんどです。

私達の幸福や幸せと言うものはある意味では元からすでに私達に与えられているものです。私は時々皆様に「幸せですか？」と尋ねますと「なんとか」とか無理な感じで「はい。」と答える感じがします。本当に皆様は幸せです。しかしその幸せを見る方法を失った事によって、いつも雲をつかむ感じで手の届かないところを見ながらいつも自分の全てを賭けてしまう愚かさを見せてしまうのがこの世の中の流れだと思えます。

皆様今何を求めているのでしょうか？求める物が本当の幸せを踏み殺しながら探しているのではないのでしょうか？

勿論、"ラッキー"とか"幸運"という言葉が肯定的ないみとして必要な場合もあります。しかし、私なら、幸運より幸福を選びます。皆様、隣の方の顔を見て下さいませんか。はっきり申し上げます。こういう日常の全ての人の笑顔が私達を幸せにさせます。遠くを見ないで下さい。いつも私の中や周りに幸せというものが待っているのです。皆様の幸せは今、目の中に入る隣人の顔にあります。これが信仰の共同体であり私達が生き方の意味を探せる唯一の道だと私は確信します。

皆様ラッキーというものを別のところで探そうとしないで下さい。

なぜなら私達が生まれた事、生きていること自体がラッキーであるからです。そのラッキーであることを感じる事自体が結果的に幸せになることではありませんか。皆様は幸せです。どんな難しさに

困まれている "私は幸せです" という告白が出来る為には正しい信仰しかないと思います。

感謝の心が無かったら絶対喜びは生まれません。その喜びを求める為にはどんな状況・立場でも「いつでも神様は私を助けて下さって感謝します。」「このようなきれいな人々と関わって感謝します。」誰かを待っている気持ちを許して下さって感謝します。」「人を赦そうとする気持ちを許して下さって感謝します。」誰かに好意を感じる事が出来て感謝します。」あらゆる全ての事が感謝すべきものだと思います。感謝だらけです。しかし私達は一日何回位感謝の気持ちをもって生きているのでしょうか？感謝しましょう。

ありがとうございました。